

# 2023年度 自己評価結果公表シート

学校法人 京新学園  
三井中央幼稚園

## 1. 本園の教育目標

「知」・「徳」・「体」・「食」のバランスのとれた保育を教育方針とし、幼児教育を行っている。  
「知」・・・知恵、考える力を育てる  
「徳」・・・善悪の判断を自分でできる子どもに育てる  
「体」・・・健康な体に育て、十分な体力をつけさせる  
「食」・・・食に関心をもち、感謝する心を育てる  
この精神を基にして、先生や友達と一緒に幼児期に必要な経験を積むことで、人との信頼関係やコミュニケーション能力を育て、意地悪をしない正しい心、人を許せるやさしい心、嘘をつかない強い心、謝ることのできる素直な心を持った心豊かな子どもの育成を目指している。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標の具現化を図るため、教職員同士の意見交換の場を設け、教育の質を高めるとともに、本園の中・長期のビジョンに沿った運営を図る

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育の質の向上	・処遇改善等加算Ⅱの取り組みで、職員が研修をたくさん受けることができた。
2. 子育て支援の環境づくり	・臨床心理士の先生が月1回来てもらい、子どもの姿を見てもらって保護者に伝えたり、保護者を臨床心理士につなげたりして保護者の不安や悩みをより早く解消できるようにした。引き続き、保護者が安心して子育てができる環境をつくっていききたい。 ・これまで同様園庭開放を行ったことで、保護者が他の保護者と情報交換したり、保育者に悩みを相談したりすることが出来、保護者の不安やストレスを少しでも軽減できている。
3. 異年齢児との交流など	・前年度同様、延長保育や昼食後の戸外遊びの充実により、自然に異年齢の交流が出来ている。 ・運動会や生活発表会の練習で演技を見せ合い、互いに刺激を受けられるようにした。
5. 危機管理・安全管理	・バス通園の降車の手順をマニュアル化して職員間で再確認することに加え、バスに車内確認のシステムを導入したことで、より降ろし忘れ防止の効果が上がった。 ・これまで同様、夏場の熱中症予防対策だけでなく、冬場もこまめな水分補給を促し、子どもの体調管理に努めた。 ・避難訓練を毎月1回行ったことで、避難の際の子どもたちの行動が機敏になってきている。 ・病院を受診するような怪我があった場合は、すぐに職員間で共有し、子どもたちにも伝えてけがや事故への意識を高めることができた。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度は新型コロナウイルス感染症の対策として行事の縮小や活動の制限をせざるを得なかったが、その中でもよかったことは前向きにとらえて引き続き取り入れたことで、行事や日々の生活の中で子どもたちの負担を軽減し、子どもたちの成長にとって大事なことを優先する取り組みができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
1. 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加して、さらに自己研鑽を積む。</li> <li>・経験の浅い保育者も、自身が達成感や自信を得られ、意欲的に仕事ができるよう、そしてそのことが引いては職員全体の質を上げていく事に繋がるよう、管理職や先輩職員が配慮する。</li> </ul>
2. 異年齢児との交流など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、朝や昼食後の外遊びの時間に交流する場を設けられるよう工夫する。</li> <li>・移動動物園や絵画作品展、お別れ会などの異年齢と一緒に活動する行事では、子ども同士がより深く関わられるよう計画を立てる。</li> </ul>
3. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門の施錠の徹底を保護者に呼び掛ける。</li> <li>・こまめな水分補給や手洗いうがいの励行を促し、熱中症対策、感染症対策を徹底する。</li> <li>・毎月1回の避難訓練を行う。</li> </ul>
4. 子育て支援の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、京新カレッジや夢キッズなど、在園児の保護者のみならず、地域の子育て中の保護者にも寄り添える催しに取り組んでいく</li> </ul>

#### 6. 学校関係者の評価

- ・いつ来園しても先生方、園児が明るく挨拶してくれるのが好印象。
- ・担任の先生だけでなく色々な先生方が子どもの園での様子を教えてくださり、しっかりみてもらっているんだと安心できる。
- ・バス通園だと先生と保護者の関りが少なくなるので、ブログの更新頻度をあげるなど、園での様子を知る機会を増やしてほしい。
- ・課外活動と延長保育などのお迎えが重なり、駐車場に車を停めれず、お迎えに間に合わなかったり近隣の有料パーキングに停めたりなど、負担がかかっているという話を聞くので改善できるよう検討してもらいたい。
- ・日々の保育の中で、様々なカリキュラムを取り入れ、外部から講師を呼んで、子どもたちに文化や作法、身体を動かす楽しさ、また屋外菜園を設置したり、子どもたちに家庭ではできない様々なことに触れ合える環境づくりをしてくださっている。
- ・園内も、先生たちがいつも清潔にしてくださっている。
- ・お茶は必ず沸かしたものの少し細かいところではありますが、そういうところも全て子どもたちの安全を考えた上でのことだと思います。この園に入れて本当によかったです。